

## 各指標の解説

### 財政力指数

地方公共団体の財政力を示す指標。基準財政収入額を基準財政需要額で割って得た数値の過去3年間（令和3年度の場合は、令和元・2・3年度）の平均となります。

この数値が高いほど、財源に余裕があるといわれています。

### 経常収支比率

財政構造の弾力性を示す指標。人件費、扶助費、公債費などのように容易には縮小することが困難な経費に、区民税などの経常的一般財源がどの程度充当されているかを示します。

### 実質公債費比率

地方公共団体における公債費の財政負担の度合いを示す指標。過去3年間（令和3年度の場合は、令和元・2・3年度）の平均となります。

この比率が高いほど、地方債の償還に要する経費負担が重いといえます。

### ラスパイレス指数

統計処理上の加重平均の一つで、国家公務員の給与水準を100とした場合の地方公務員の給与水準を示します。

### 人口千人当たり職員数

区の職員数を住民基本台帳の人口千人当りに換算したもので、この数値が小さいほど効率的な行政運営が行われているといえます。

### 人口1人当たり人件費・物件費等決算額

行政運営の基本的なコストを図る指標で、この数値が小さいほど効率的な行政運営が行われているといえます。

※ 各指標は、ラスパイレス指数を除き、普通会計決算によるものです。普通会計とは、全国の地方公共団体の財政状況を比較するために、総務省が定める基準を用いて地方公共団体の会計を再構成した、統計上、観念上の会計です。したがって、決算書等に表われる数値とは若干異なっています。